

3．中核的温暖化対策技術の普及シナリオの検討

3 - 1 普及シナリオの検討内容

中核的温暖化対策技術の普及のためには新規対策の実施や対策の強化が必要であり、モデル事業計画等を含む具体的な導入方策の検討が重要となる。先に選定した中核的温暖化対策技術について、2010年までの早期大量普及を実現するための普及シナリオについて検討した。ここでは、各対策技術について以下の事項を整理した。

(1) 本対策技術導入の効果・利点

当該対策技術のCO₂排出削減における直接的な効果や、他の環境保全対策への影響・奇与等の普及に伴う波及的な影響・効果・利点について整理する。

(2) シナリオ検討のポイント

当該対策技術の普及を促進するための施策的な手法のポイントについて整理する。

(3) 普及シナリオ

「(2)シナリオ検討のポイント」をふまえて、普及シナリオについて具体的な内容を示す。

(4) 想定される課題に対する考え方

当該対策技術の普及に際して想定される課題をあげて、具体的な対応の考え方について示す。

(5) 導入効果の試算

当該対策技術の普及による2010年時点のCO₂削減効果について、シナリオに基づく条件を想定して試算するとともに、最大限普及する場合の効果について把握する。